

競技注意事項

1. 本大会は2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則・本大会申し合わせ事項によって運営する。

大島鎌吉記念種目の走幅跳、三段跳、100m、やり投は大島鎌吉杯として1位から3位まで表彰する。

記録会種目は表彰しない。

2. 選手招集方法について

招集場所は、本競技場内スタンド下雨天走路に設ける。欠場する場合は最終点呼開始10分前までに×をつけること。

競技者は、「招集締切時刻(トラック15分前、フィールド30分前)」5分前までに、競技場所に集まり最終点呼を受けること。

「招集締切時刻」の5分前から最終点呼を開始する。

「招集締切時刻」に競技場所にいない場合は欠場として処理する。

3. アスリートビブスについて

- ① 申込時のアスリートビブスを胸背部(トラック種目は右腰部にも)につけていない競技者の出場 (小学生は胸と腰のみ)

は認めない。ただし、跳躍種目に出場する競技者は背又は胸部のどちらか一方でもよい。

- ② 小学生種目は胸に個人ナンバー・腰はレーンナンバーを使用する。(個人ナンバーを用意できない場合は、レーンナンバーを使用する。)

- ③ 1500m以上の長距離・競歩に出場する競技者は、胸・背・腰にレーンナンバーカードをつける。

レーンナンバーカードはフィニッシュ後に回収する。

4. 競技について

- ① 3000m、5000m競歩は参加状況に応じてグループスタートとする。

- ② 男子三段跳の踏切板は砂場より12mと11m、女子三段跳は9mに設置(当日調整もある)

- ③ 競技に使用する用具はすべて競技場備えつけのものを使用する。

投擲用具がない場合は、検定するが最終点呼90分前までに用器具庫で検定するが、借り上げとする。

- ④ スパイクシューズのピンの長さは、全天候舗装につき9mm以下とする。また、走高跳及びやり投

の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。なお、形態は平行ピンとする。

- ⑤ シューズ・スパイクについては競技規則TR5を適用し、問題がある場合は検査する。

- ⑥ 大島記念陸上種目のフィールド競技は全てトップ8による決勝試技を実施する。(記録会は3回の試技のみとする)

- ⑦ 通信機器、ビデオ装置、ICレコーダー、ラジオ、CDなど通信機能付きの機器は持ち込みしないこと。失格の対象になる。

- ⑧ 競技中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

- ⑨ トラックのすべての競技終了後、国スポに向けた特別レースとして女子4×100mRを実施する。